

5. トピック ① 竹林

概要

昭和45年（1970年）以前には、竹林をはじめ、アカマツ林、田畑、かや場などが千里丘陵一帯に広がっていましたが、万博やニュータウン開発などでそれらが大きく減少しました。現在は、吹田市内では往時の名残としての竹林が市域西部から北部にかけて点々と分布しています。

竹林は、タケノコ生産やその風景の美しさなどから、多くの人の関心を集め愛されてきました。「千里の竹林」は、平成元年（1989年）に府民投票により大阪みどりの百選のひとつに選ばれたのをきっかけに、全国的にも有名になりました。

植生区分の面積変化と緑被率の変化

表 1

植生区分	面積 (ha)			緑被率 (%)		
	2001年	2010年	増減	2001年	2010年	増減
F1 竹林面積	84.3	31.1	- 53.1	2.3	0.9	- 1.4
F2 タケ・広葉樹混交林面積	3.3	28.0	+ 24.8	0.1	0.8	+ 0.7
F3 タケ・針葉樹混交林面積	0.1	27.5	+ 27.4	0.0	0.8	+ 0.8
F4 タケ・針葉広葉樹混交林面積	1.1	11.8	+ 10.7	0.0	0.3	+ 0.3
合計	88.7	98.5	+ 9.7	2.5	2.7	+ 0.3

竹林の変化

前回と今回調査時点とで竹林面積を比べてみたところ、この10年間で、管理されたきれいな竹林（表1のF1）は大きく減っていましたが、それ以外の竹林（表のF2+F3+F4）の面積は、逆に増えていることがわかりました。竹林内に他の樹木が生えてきたところが多く、逆にタケは一晩で数十センチも伸びるほど生長が早いので他の樹木を押しよけて竹林になったところ（地図の濃いオレンジがそれと推定）もあったようです。全体としては10haほど増えたことになります。



竹林のようす

